



スナップショットをスケジュールする Element Software

NetApp
November 12, 2025

目次

スナップショットをスケジュールする	1
スナップショットをスケジュールする	1
詳細情報の参照	1
スナップショットスケジュールの詳細	1
スナップショットスケジュールを作成する	2
スナップショットスケジュールを編集する	3
スナップショットスケジュールをコピーする	4
スナップショットスケジュールを削除する	4

スナップショットをスケジュールする

スナップショットをスケジュールする

ボリューム スナップショットが指定された間隔で実行されるようにスケジュールすることで、ボリュームまたはボリューム グループ上のデータを保護できます。単一ボリュームのスナップショットまたはグループ スナップショットのいずれかを自動的に実行するようにスケジュールできます。

スナップショット スケジュールを構成するときに、曜日または日付に基づいて時間間隔を選択できます。次のスナップショットが発生するまでの日数、時間、分も指定できます。ボリュームが複製されている場合は、結果のスナップショットをリモート ストレージ システムに保存できます。

詳細情報の参照

- [スナップショットスケジュールを作成する](#)
- [スナップショットスケジュールを編集する](#)
- [スナップショットスケジュールを削除する](#)
- [スナップショットスケジュールをコピーする](#)

スナップショットスケジュールの詳細

「データ保護 > スケジュール」 ページでは、スナップショット スケジュールのリストに次の情報が表示されます。

- **ID**

スナップショットのシステム生成 ID。

- **タイプ**

スケジュールの種類。現在サポートされているタイプはスナップショットのみです。

- **名前**

スケジュールの作成時に付けられた名前。スナップショット スケジュール名の長さは最大 223 文字で、az、0-9、およびダッシュ (-) 文字を含めることができます。

- **頻度**

スケジュールが実行される頻度。頻度は時間と分、週、または月単位で設定できます。

- **繰り返し**

スケジュールを 1 回だけ実行するか、定期的に行うかを指定します。

- **手動で一時停止**

スケジュールが手動で一時停止されているかどうかを示します。

- **ボリュームID**

スケジュールの実行時にスケジュールが使用するボリュームの ID。

- **最後の実行**

スケジュールが最後に実行された時刻。

- **最終実行ステータス**

最後のスケジュール実行の結果。有効な値は次のとおりです。

- 成功
- 失敗

スナップショットスケジュールを作成する

ボリュームのスナップショットが指定された間隔で自動的に実行されるようにスケジュールを設定できます。

スナップショット スケジュールを構成するときに、曜日または日付に基づいて時間間隔を選択できます。定期的なスケジュールを作成し、次のスナップショットが発生するまでの日数、時間、分を指定することもできます。

5 分で割り切れない時間帯にスナップショットを実行するようにスケジュールした場合、スナップショットは 5 分で割り切れる次の時間帯に実行されます。たとえば、スナップショットを 12:42:00 UTC に実行するようにスケジュールした場合、スナップショットは 12:45:00 UTC に実行されます。スナップショットを 5 分未満の間隔で実行するようにスケジュールすることはできません。

Element 12.5 以降では、連続作成を有効にして、UI から先入れ先出し (FIFO) 方式でスナップショットを保持するように選択できます。

- シリアル作成を有効にする オプションは、一度に 1 つのスナップショットのみが複製されることを指定します。以前のスナップショットのレプリケーションがまだ進行中の場合、新しいスナップショットの作成は失敗します。チェックボックスが選択されていない場合、別のスナップショットレプリケーションが進行中の場合でもスナップショットの作成が許可されます。
- **FIFO** オプションは、最新のスナップショットを一定数保持する機能を追加します。チェックボックスをオンにすると、スナップショットは FIFO ベースで保持されます。FIFO スナップショットのキューが最大深度に達すると、新しい FIFO スナップショットが挿入されるときに最も古い FIFO スナップショットが破棄されます。

手順

1. データ保護 > *スケジュール*を選択します。
2. *スケジュールの作成*を選択します。
3. ボリューム **ID CSV** フィールドに、スナップショット操作に含める単一のボリューム ID またはボリューム ID のコンマ区切りリストを入力します。
4. 新しいスケジュール名を入力します。

5. スケジュール タイプを選択し、提供されたオプションからスケジュールを設定します。
6. オプション: スナップショット スケジュールを無期限に繰り返すには、定期的なスケジュール を選択します。
7. オプション: [新しいスナップショット名] フィールドに新しいスナップショットの名前を入力します。

フィールドを空白のままにすると、スナップショットの作成日時が名前として使用されます。

8. オプション: 親ボリュームがペアリングされているときにスナップショットがレプリケーションでキャプチャされるようにするには、[ペアリング時にスナップショットをレプリケーションに含める] チェックボックスをオンにします。
9. オプション: 一度に 1 つのスナップショットのみが複製されるようにするには、[連続作成を有効にする] チェックボックスをオンにします。
10. スナップショットの保持期間を設定するには、次のオプションから選択します。
 - オプション: 最新のスナップショットを一定数保持するには、**FIFO** (先入れ先出し) チェックボックスをオンにします。
 - スナップショットをシステム上に無期限に保持するには、「永久に保持」を選択します。
 - *保存期間の設定*を選択し、日付スピンドボックスを使用してシステムがスナップショットを保持する期間を選択します。
11. *スケジュールの作成*を選択します。

スナップショットスケジュールを編集する

既存のスナップショット スケジュールを変更できます。変更後、次にスケジュールを実行するときには更新された属性が使用されます。元のスケジュールで作成されたスナップショットはストレージ システムに残ります。

手順

1. データ保護 > *スケジュール*をクリックします。
2. 変更したいスケジュールの*アクション*アイコンをクリックします。
3. 表示されたメニューで、[編集] をクリックします。
4. ボリューム **ID CSV** フィールドで、スナップショット操作に現在含まれている単一のボリューム ID またはボリューム ID のコンマ区切りリストを変更します。
5. スケジュールを一時停止または再開するには、次のオプションから選択します。
 - アクティブなスケジュールを一時停止するには、[手動でスケジュールを一時停止] リストから [はい] を選択します。
 - 一時停止したスケジュールを再開するには、[手動でスケジュールを一時停止] リストから [いいえ] を選択します。
6. 必要に応じて、「新しいスケジュール名」フィールドにスケジュールの別の名前を入力します。
7. 週または月の異なる曜日に実行するようにスケジュールを変更するには、「スケジュール タイプ」を選択し、表示されるオプションからスケジュールを変更します。
8. オプション: スナップショット スケジュールを無期限に繰り返すには、定期的なスケジュール を選択します。

9. オプション: [新しいスナップショット名] フィールドに新しいスナップショットの名前を入力または変更します。

フィールドを空白のままにすると、スナップショットの作成日時が名前として使用されます。

10. オプション: 親ボリュームがペアリングされているときにスナップショットがレプリケーションでキャプチャされるようにするには、[ペアリング時にスナップショットをレプリケーションに含める] チェックボックスをオンにします。
11. 保持設定を変更するには、次のオプションから選択します。
 - スナップショットをシステムに無期限に保持するには、[永久に保存] をクリックします。
 - [保存期間の設定] をクリックし、日付スピン ボックスを使用して、システムがスナップショットを保持する期間を選択します。
12. *変更を保存*をクリックします。

スナップショットスケジュールをコピーする

スケジュールをコピーして、現在の属性を維持することができます。

1. データ保護 > *スケジュール* をクリックします。
2. コピーするスケジュールのアクション アイコンをクリックします。
3. 表示されるメニューで、[コピーを作成] をクリックします。

スケジュールの現在の属性が入力された「スケジュールの作成」ダイアログ ボックスが表示されます。

4. オプション: 新しいスケジュールの名前と更新された属性を入力します。
5. *スケジュールの作成* をクリックします。

スナップショットスケジュールを削除する

スナップショットスケジュールを削除できます。スケジュールを削除すると、今後スケジュールされたスナップショットは実行されなくなります。スケジュールによって作成されたスナップショットはストレージ システムに残ります。

1. データ保護 > *スケジュール* をクリックします。
2. 削除したいスケジュールの*アクション* アイコンをクリックします。
3. 表示されたメニューで、[削除] をクリックします。
4. 操作を確定します。

著作権に関する情報

Copyright © 2025 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および/または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。